

# 「農山漁村」 インパクト創出ソリューション 実装プログラムのご提案

株式会社バカン  
執行役員 DX事業本部長  
五十嵐 則道



**代表** 河野 剛進（代表取締役）

**設立** 2016年6月8日

**住所** 本社：東京都千代田区麹町2-5-1 半蔵門PREX South 3F

**支店** 国内：関西

**社員数** 78名 取締役5名、監査役3名（契約社員含む、2023年12月31日現在）

**社外取締役** 春田 真（株式会社ベータカタリスト代表取締役CEO、  
株式会社エクサウィザーズ代表取締役社長）

保々 雅世（JFEシステムズ株式会社社外取締役）

**技術顧問** 川原 圭博（東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授）

中山 英樹（東京大学大学院 情報理工学系研究科 准教授）

西 晃弘（米カリフォルニア大学ロサンゼルス校 准教授）

**主要株主** NTT東日本、清水建設、JR東日本スタートアップ ほか

**導入実績** （公共）全国約300自治体

①防災・レジリエンス②公共施設運営（予約・管理）③観光④地域コミュニティ

（民間）全国約15000箇所

①駅・空港②百貨店・商業施設③オフィスビル④スタジアム・アリーナ⑤ホテル・旅館



## 「避難所混雑状況可視化システム」は全国200以上の自治体、12,000箇所以上で導入済

全国 約 200自治体 以上  
人口カバー率 19%  
の導入・運用実績  
(2024年2月時点)



### 北海道

江別市 千歳市 室蘭市 にかほ市 郡山市 いわき市 福島市

### 東北

### 関東

多摩市 豊島区 世田谷区 小金井市 狛江市 清瀬市 府中市 国立市 調布市 西東京市 三鷹市 茅ヶ崎市 大和市  
小田原市 鎌倉市 伊勢原市 藤沢市 寒川町 中井町 平塚市 三浦市 秦野市 横須賀市 葉山町 清川村 逗子市  
座間市 綾瀬市 湯河原町 愛川町 海老名市 南足柄市 大磯町 開成町 鹿嶋市 常総市 神栖市 坂東市 水戸市  
高萩市 潮来市 守谷市 美浦村 稲敷市 鉾田市 つくば市 つくばみらい市 茨城町 阿見町 日立市 牛久市 古河市  
ひたちなか市 大洗町 那珂市 筑西市 行方市 土浦市 取手市 境町 利根町 石岡市 城里町 結城市 北茨城市  
河内町 八千代町 常陸大宮市 かすみがうら市 五霞町 常陸太田市 桜川市 東海村 龍ヶ崎市 下妻市 小美玉市  
大子町 笠間市 野木町 栃木市 日光市 小山市 真岡市 大田原市 さくら市 下野市 塩谷町 高根沢町 那須町  
那珂川町 矢板市 那須烏山市 芳賀町 上三川町 益子町 茂木町 市貝町 壬生町 桐生市 明和町 館林市 渋川市  
大泉町 伊勢崎市 藤岡市 志木市 秩父市 蓮田市 久喜市 鴻巣市 杉戸町 入間市 朝霞市 春日部市 新座市 本庄市  
宮代町 所沢市 深谷市 川島町 富士見市 南房総市 佐倉市 八千代市 習志野市 松戸市 白井市

### 中部・北陸

長岡市 見附市 加賀市 小松市  
白山市 川北町 下呂市 羽島市  
裾野市 四日市市 富士宮市 藤枝市

### 近畿

泉大津市 和泉市 高石市 枚方市  
守口市 大阪市中央区 西脇市 明石市  
神戸市 橋本市

### 中国・四国

岡山市 和気町 安芸高田市 福山市  
江田島市 下関市 光市 周南市

### 九州・沖縄

豊前市 八女市 柳川市 佐賀市 長崎市 時津町 長与町 杵崎市 大村市 対馬市 五島市 東彼杵町 川棚町 佐々町  
島原市 諫早市 波佐見町 雲仙市 南阿蘇村 山鹿市 日出町 臼杵市 大分市 中津市 日田市 豊後高田市 宮崎市  
新富町 高鍋町 長島町 日置市 鹿児島市 薩摩川内市 枕崎市 佐世保市 松浦市 平戸市 西海市 杵築市  
豊後大野市 日南市 出水市

## 平時・災害時に「実際に使える」システム

本システムは、災害時の避難所運営における混乱や負担を最小限に抑えることを目的に、「実際に使える」ことを最重視したシステムです。以下の3つの柱を中心に、平時も含め現場で本当に役立つ運営体制をサポートします。



管理者（避難所運営者）に  
「触らせない」

避難所運営に精通していない地域の住民や自治体職員でも運営が可能になるよう、システムは自律的に情報収集・整理・表示が可能。管理者がシステム操作に追われることなく、本来の人的支援や判断業務に集中できる環境を実現します。



利用者（避難者）に  
「書かせない」「待たせない」  
「迷わせない」

高齢者を中心とした避難者が操作や登録などにストレスや混乱なく避難できるよう、事前準備が不要なものを含む複数の入所経路をご用意。受付や情報提供、物資配布などを避難者属性に合わせてスムーズに行える設計としています。



日常からの地域防災力アップ  
を支援

平時の防災訓練との連携やデータ記録、コミュニティ参加型の避難所運営体験など、災害時だけでなく日常時からの運用・訓練・教育を支えることで、地域防災力を段階的に向上させ有事への備えを支援します。

## 日常の利便性と災害時のレジリエンスを向上するフェーズフリーな基盤システム

### 災害時機能

- ・ 避難所マップ
- ・ 避難者名簿
- ・ 施設/設備マップ
- ・ 避難所受付
- ・ 安否確認



### 平常時機能

- ・ 地域コミュニティ
- ・ 公共施設予約
- ・ 窓口行列管理
- ・ 駐車場混雑可視化
- ・ 観光案内



平時サービスを利用すること自体が「防災訓練」となるという考え方がポイント

## バカンのソリューションがより高い効果を発揮する連携のイメージ

### 適正1

高齢者単身世帯や移動困難者が多く、見守り・安否確認のニーズが高い地域

#### <特徴>

- 高齢者の単身世帯や老々世帯が多く、災害時に自力で避難することが困難な住民が多い。
- 日常的な見守り体制も地域のボランティアに依存しており、担い手不足が深刻。

#### <導入適性の理由>

- 平時の見守り=災害時の安否確認としてシームレスに運用できる。
- 地域内の見守りネットワーク（民生委員、消防団など）との連携強化にも活用可能。

### 適正2

地理的分散が大きく、行政サービスが届きにくい集落や地域が点在している自治体

#### <特徴>

- 「点在する小規模集落」が存在し、行政職員や医療・福祉の支援が物理的に届きにくい。
- 災害時には道路寸断・通信遮断が起こりやすく、孤立集落化のリスクが高い。

#### <導入適性の理由>

- 災害時の避難情報の自動配信・ローカル通知などで孤立のリスクを軽減。
- 普段から活用されることで住民も操作に慣れ、非常時においてもスムーズな運用が可能。

### 適正3

地域の人手や予算が限られており、複数課題に対応できる多機能ツールが求められる自治体

#### <特徴>

- 防災、福祉、観光などの部門横断的な人材不足・予算不足が常態化している。
- 複数の課題を個別のツールやシステムで対応する余裕がなく、汎用性の高いソリューションを求めている。

#### <導入適性の理由>

- 平時（見守り、観光案内）と災害時（避難誘導、安否確認）で共通活用できるため、投資対効果が高い。
- 1つのツールで複数の役割を担えるため、職員の業務効率向上にも直結する。

The logo for VACAN, featuring the word "VACAN" in a bold, blue, sans-serif font. The letters are contained within a white, rounded rectangular shape that has a slight drop shadow, giving it a 3D appearance. The background of the entire slide is a blurred image of a clothing store interior, with racks of clothes and people working in the background.

## Contact Us



03 6327 5533



[contact@vacancorp.com](mailto:contact@vacancorp.com)



〒102-0083  
東京都千代田区麹町2丁目5-1  
WeWork半蔵門PREX South 3F



<https://corp.vacan.com>